

花のチカラ 緑のココロ

2015年 夏号



残暑お見舞い申し上げます



6月13日(土)、「園芸福祉シンポジウム in おおさか」が開催されました。大阪での全国規模の園芸福祉の催しは初めての開催なので大阪、奈良、京都、滋賀、兵庫、和歌山の園芸福祉仲間にも声をかけ、皆さんの協力のもと、準備を進めてきました。綿密な(?)準備の甲斐あって、当日の参加者は200名。

北は福島から南は沖縄まで、全国各地からたくさんの方に集まっていただきました。当日のプログラムは、



「進士五十八先生の基調講演」「園芸福祉実践発表」「グループディスカッション」の3つで構成されていました。まず、進士先生の基調講演。タイトルは、「自然・社会・経済・文化の持続性は四つの多様性から—これからの園芸福祉活動は“みんなちがってみんないい”の発想で」。タイトルどおり、これからの園芸福祉について「生物多様性」「生活多様性」「経済多様性」「景観多様性」などのキーワードとともに、

大局的視点から進むべき道と、「このままやっていいんだよ」ということを示していただきました。

基調講演の次は、実践者からの発表。後ほど行われるグループディスカッションの5つのテーマ「公園関係」「病院関係」「地域活動」「農業関係」「教育関係」に合わせて、5人の方が発表されました。それぞれの現場で実践している「生の声」を聞くことができ、とても興味深い内容でした。「一人7分という時間ではもったいない」という声も聞かれたくらい、中身の濃い発表ばかりでした。

そして、最後のグループディスカッションです。テーマは「園芸福祉の未来」。参加者が、自分の興味のあるグループに分かれていきます。運営する側としては、グループディスカッションがうまく進むかどうかを一番心配していましたが、15~30人が5つのグループにうまく分かれてくださり、とても盛り上がる会になりました。5つのグループで、コーディネーターを中心に参加者それぞれが抱えている課題や、これからの園芸福祉について、活発に意見交換が行われました。特徴的だったのは、「農業関係」グループに多くの方が参加されたこと。農業分野での園芸福祉活用を感じました。



半日の中でいろいろなことをやる、忙しいシンポジウムになりましたが、参加者、発表者、コーディネーター、実行委員の皆さんのおかげで、大阪らしいにぎやかなシンポジウムにすることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

おまけ：場所を変えて行われた、シンポジウム終了後の懇親会にも、会場に入りきらないほどたくさんの方にご参加いただきました。ワイワイがやがや、とても賑やかな宴会になりました。

(シンポジウム実行委員長 石神洋一(NPOたかつき 代表理事))

シンポジウムの前に、NPO法人日本園芸福祉普及協会の通常総会を開催し、原案通り承認いただきました。役員については、全員の留任と大出英子氏(東京農大グリーンアカデミー)の新任が承認されました。

(事務局)



2015年度総会において、園芸福祉の普及に貢献した個人・団体を顕彰いたしました
名張市／三重県立相可高等学校／棚橋洋子(東京都)／角銅久美子(福岡県)
園芸福祉ふくおかネット／広島中央ヤクルト販売(株)



地域協力団体のご紹介

現在、全国各地域の園芸福祉活動を支えていくために、都道府県単位で園芸福祉の実践や普及、ネットワークづくりを進めている地域協力団体が 21 団体あります。地域の活動でお困りのことがありましたら、お気軽に地域協力団体までご相談ください。お近くに地域協力団体がない場合は、当協会までご相談ください。

地域	団体名	連絡先	地域	団体名	連絡先
北海道	北の国園芸福祉研究会	090-9439-1523 (三田村)	滋賀県	NPO法人滋賀の園芸福祉研究会	077-589-2210
福島県	うつくしま園芸福祉の会 担当:関野	024-593-6337	京都府	NPO法人京の園芸福祉研究会	075-582-0108
栃木県	園芸福祉とちぎ	0285-53-6825	大阪府	NPO法人たかつき	072-689-9112
埼玉県・東京都 千葉県・神奈川県	園芸福祉首都圏ネット	090-6925-6163 (五十嵐)	兵庫県	NPO法人ひょうご宝塚園芸福祉協会	0797-86-0619
新潟県	園芸福祉にいがた	0258-86-8121	和歌山県	園芸福祉グリーン倶楽部	090-3489-1130 (井上)
石川県	いしかわ園芸福祉協議会 担当:瀬川	076-225-1478 (内線 4271)	岡山県	NPO法人岡山県園芸福祉普及協会	090-7543-8168 (西村)
長野県	長野県園芸福祉ネットワーク	0265-98-6707	広島県・島根県	ひろしまね園芸福祉協会	0823-33-7173
岐阜県	NPO法人岐阜県園芸福祉協会	0574-72-2222	福岡県	園芸福祉ふくおかネット	090-8626-1586 (黒瀬)
静岡県	NPO法人しずおかユニバーサル 園芸ネットワーク	053-425-8686	長崎県	NPO法人長崎さんさん 21	095-857-3251
愛知県	NPO法人花と緑と健康のまち づくりフォーラム	052-613-1187	沖縄県	沖縄園芸福祉協会	098-895-8820
三重県	三重県園芸福祉ネットワーク	0595-65-8787			

園芸福祉士資格審査のご案内

平成 27 年度園芸福祉士資格審査についてご案内いたします。以下の①～③の審査条件をすべて満たした方は、園芸福祉士資格審査の申込をすることができます。

審査
条件

- ①初級園芸福祉士の資格更新を 1 回以上行い、審査申込時点で資格登録者であること。
- ②園芸福祉活動を 2 年以上行い、年間活動アンケートを 2 回以上提出していること。
ただし、年間活動アンケートは園芸福祉活動の実施報告であること。
- ③当協会または地域協力団体の主催或いは共催のシンポジウム、事例発表会、勉強会、イベント等に 1 回以上参加していること。審査申込時に自己申告していただきますが、居住地域に地域協力団体がない等、参加が難しい方については別途ご対応いたします。

審査申込期間 平成 2 7 年 8 月 1 1 日～8 月 3 1 日
審査料 3, 0 0 0 円

平成 27 年度新たに①②の条件を満たした方には審査申込書をお送りいたします。
また、平成 26 年度以前にすべての条件を満たし今年度審査を希望される方、審査条件を満たしているかご確認されたい方は、8月20日(木)までに事務局までお問い合わせください。



活動プログラムのご紹介

庭に植えると地下茎で見る見るうちに広がっていく「砥草（とくさ）」。ケイ酸を含んだ茎が、ものを研ぐのに使われたことから砥草と呼ばれます。濃緑色が美しいこの時期に、砥草を使ったアレンジメントをしてみたいかがでしょうか。

砥草の花皿



- | 材料 | 作り方 |
|-----------|--|
| 砥草 10 本 | 1 牛乳パックを底から 3 cm 位のところで切る。 |
| 牛乳パック 1 個 | 2 吸水スポンジを 1 に入る大きさに切り、底に敷く。 |
| 吸水スポンジ | 3 砥草を 3.5～4.5 cm の長さに切る。(切り揃えないほうがよい。) |
| 木工用ボンド | 4 牛乳パックの外周に木工用ボンドを塗り、切った砥草を 1 本ずつとめる。 |
| 季節の植物 | 5 ボンドが乾いたら、吸水スポンジに水を与え、季節の植物をアレンジして完成。 |



本年度は、新たに約 240 名の方々が初級園芸福祉士に登録されました。自己紹介の中から一部をご紹介します。



園芸に関しては全くの初心者なので、まずは色々な活動に参加して勉強したいです。現在、職場である特別支援学校で花壇、畑を作っています。園芸をとおして子ども達が地域との繋がりを持つきっかけを作ることができればいいなと考えています。また、自分も植物に触れて癒されたいです。(新潟県／女性)

介護職に就いているため園芸福祉を通して仕事の助けになるような知識が身につけばと思い、気軽に始めたのがきっかけですが、縁あって現在、実習で伺った友愛十字会さんのボランティアとして楽しく花壇の手入れをさせていただいております。(東京都／女性)



今年 2 月に 80 歳になりました。今は健康ですが、頭脳も肉体も少しずつにぶってまいりましたが死ぬまで現役として存在していきたいので努力は惜しまないつもりです。自治会員、老人会長として地域公園花壇の草花の管理活動を仲間たちと当番分担して仲よく元気で頑張っております。(神奈川県／男性)

合格発表を待っている間に 70 歳になりました。年をとってからの勉強、一段と嬉しいです。草花や植物を見る眼が一段と高くなった気持ちです。前と変わらず笑顔と粘り強さで花を咲かせます。他のところの見学も大いに出て行きます。(愛知県／女性)



私は中学校のスクールカウンセラーとして勤務しています。不登校や発達障害の生徒に対して、学級園や畑で、もっと興味をもって楽しみながら活動していくには園芸福祉のプログラム作りや、人との交流、実習等を参考に実践していきたいと考えています。又、協会の主催するシンポジウムや勉強会、イベント等にも参加し、現在の仕事に活かしていくことや地域での実践等、活動の幅を広げていきたいと考えています。(広島県／男性)

みどりの持つ力に感銘を受け、いろんな方々と一緒に心躍るような笑顔広がる活動に参加していきたいです。みどりの知識はほとんどないので、いろいろな活動に参加し経験、知識を得たいと思っています。(京都府／女性)



鹿児島には、園芸福祉士が不在でしたが、今回の合格で園芸福祉士不在都道府県が解消しました。いつかは、当地でも園芸福祉士養成講座を開催できる様に、頑張ります。植物を育ててみんなが幸せになりますように。(鹿児島県／男性)

この夏のおすすめの二冊



「プラントハンター『命を懸けて花を追う』」西畠清順著 徳間文庫 760 円+税

著者の西畠氏は明治元年より 150 年続く、花と植木の卸問屋「株式会社花宇」の五代目。日本全国・世界 33 ヶ国を旅し、収集・生産している植物は数千種。彼はこの世界に生きる植物すべてを「花」と呼ぶ。桜の花も、松の枝も、サボテンもすべて「花」。地を這い、崖を登り、命を懸けて「花」を追う。知られざるプラントハンターの世界がここにある。

この本は、広島県呉市在住の園芸福祉士の方からご推薦いただきました。

「ダウン症の歴史」デイヴィット・ライト著 大谷誠訳 明石書店 3,800 円+税

本書はダウン症が歴史の中でどのように議論され、時代が移りゆくなかで障害のある人への社会的認識や社会的地位について、変わった面と変わらなかった面について論じている。ダウン症のある人とその他の人々とが、共に暮らし、お互いに尊重し合えるより良き社会を実現し永続化するために、専門家・当事者・その家族や支援者だけでなく、限りなく多様な領域の人々がダウン症の理解を深め、新たな課題への策を見つけ出すことに踏み出さなければならぬと教えてくれている。(記者あとがきより抜粋)



コラム 市民農園万国記

～市民農園国際会議における欧州最新状況～



会議開催前（オープニングセレモニー前）

昨年8月のオランダ ユトレヒト市での会議のテーマは、ずばり『変革』でした。長い歴史を持つ欧州の市民農園も、社会や市民のニーズと将来を考え、変革しなくては存続が危ぶまれるとの考えから設定されたのでしょうか。元々、生活困窮者への食料自給や子ども達の健康増進、家族のコミュニティなど、福祉目的で普及・発展してきた市民農園が壁にぶち当たっているらしいのです。長い歴史の中で市民農園利用者が勝ちとってきた権利に対する批判や、多様化する市民意識のなかでの農園利用ニーズの低下から、一般市民にも必要とされる公益緑地施設として生まれ変わることが求められているようです。そのために、前号で紹介した景観だけでなく、地域の子どもの教育や高齢者・障がい者の憩いや癒しの場などの役割を果たそうとしています。そして近年、欧州各国は、日本におけるこれらの取り組みに対して興味津々で、園芸福祉の欧州輸出も近そうです。ちなみに今年は、市民農園における子どもの農園芸教育の取り組みについて、日本を含めたメンバー各国の情報の提供が求められています。次の国際会議は、2016年8月にオーストリアのウィーンで開催する予定です。参加を希望される方は、ご連絡下さい。（添乗員・通訳は付きません）（粕谷）



農園見学した英語チームの集合写真

求む！各地・各人の活動情報

地域組織や個人の園芸福祉活動の情報を事務局宛にお送りください。また、下記 mail アドレスにご連絡ください。会報などはPDFファイルを添付してメールしていただければ皆様に広報させていただきます。

HP アドレス：<http://www.engeifukusi.com/>

mail アドレス：kyoukai@engeifukusi.com

正会員を募集しています

日本園芸福祉普及協会は、NPO法人です。NPO法人は、正会員で成り立つ組織です。協会の正会員の内70%以上の方は、初級園芸福祉士の資格を取られた後に正会員になられた方達です。多くの方に正会員になっていただき、協会運営にお力添えをお願いいたします。

おすすめの一冊

ただ今、会報で紹介させていただくお勧めの本を募集しています。みなさんのおすすめの一冊をぜひお知らせください。ただし、園芸福祉に関連する、あるいは関連すると思われる本に限らせていただきます。お待ちしております！！

編集後記

夏の夜の風物詩といえば、花火。子どもの頃は夏休みに開催される花火大会に心ときめかせたものです。日本でもっとも歴史のある花火大会は隅田川花火大会ですが、自宅近くの多摩川を挟んで世田谷と川崎で催される多摩川花火大会は毎年欠かせないイベント。今年の開催予定日は8月22日。冷えたビールを飲みながら、華やかな花火が躍動する夜空をめでるのは格別です。（今井）

NPO法人日本園芸福祉普及協会

〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 58

TEL:03-3266-0666 FAX:03-3266-0667